

社会科学学習指導案

生徒 第3学年A組 男子18名 女子18名 計36名

指導者 教諭 郡司直孝

I 単元 公民的分野『(2) 私たちと経済 イ 国民生活と政府の役割』

II 単元の見どころ

国民の生活と福祉の向上を図るために、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割や財政・租税の意義と役割について考えることができる。

III 単元について

本単元では、国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護など、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせることや、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせること、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民の納税の義務について理解させることを内容としている。

本単元の学習のまとめとなる本時では、単元を通して追究し続けてきた学習課題「平成32(2020)年度予算からの()に、賛成か、条件付賛成か、反対か? (※()には、「社会資本の整備を進めるために、公共事業関係費を増額する」「次世代への借金を残さないために、公債の発行を減額する」「少子高齢化に対応するために、社会保障関係費を増額する」のうち、各学級での検討を踏まえて、学級ごとに1つをそれぞれ設定する。)」に対する自らの立場及びその理由を説明するとともに、様々な立場や理由を持つ他者との協議を通して、国や地方公共団体が果たしている役割や財政・租税の意義と役割を多面的・多角的に考察することのできる学習活動を展開する。

IV 生徒の実態について

社会科に対する学習意欲は高く、個別事象に関する基礎的・基本的な知識を習得している生徒が多い。また、ディスカッションや協働学習に対して意欲的に取り組む様子が見られ、他者の意見や考えを踏まえて自己の課題追究に生かそうとすることができる。しかし、根拠を持って他者に説明することや、自らの異なる他者の意見や考えを踏まえて、自らの考えを更新していくことを苦手とする生徒が見られる。

V 単元の評価規準

○国や地方公共団体が果たしている役割や財政の役割について、国や地方公共団体の経済活動に関わる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【社会的な思考・判断・表現】	○国や地方公共団体の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動について考えようとしている。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
○国や地方公共団体の経済活動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【資料活用の技能】	
○社会資本の整備、社会保障の充実、消費者の保護、租税の意義と役割及び国民の納税の義務について理解し、その知識を身に付けている。 【社会的事象についての知識・理解】	

VI 指導計画 (8時間扱い……本時7・8/8)

単元を貫く学習課題：平成32(2020)年度予算からの()に、賛成か、条件付賛成か、反対か?

※()には、3つの政策から各学級で検討し、1つを設定する。

学習内容	指導内容 単位時間の学習課題	時間	評価計画			
			関	思	技	知
○租税教室	税に関する専門家による租税の意義や制度について (講師：北海道税理士会函館支部所属の税理士)	1	○			○
○学級の「単元を貫く学習課題」の設定	3つの政策案(「社会資本の整備を進めるために、公共事業関係費を増額する」「次世代への借金を残さないために、公債の発行を減額する」「少子高齢化に対応するために、社会保障関係費を増額する」)のうち、学級として追究し続ける政策の検討及び根拠を明らかにした上での設定	1	○	○		
○私たちの生活と財政	財政の歳入と歳出における具体的な内容及び租税の大まかな仕組みやその特徴について 直接税と間接税の比率はどのようにあるべきか?	1			○	○

○政府の役割と財政の課題	社会資本の整備や公共サービスの提供、社会保障のための支出、財政政策による景気の安定化など、財政によって政府が果たしている役割について 「小さな政府」を目指すべきか、「大きな政府」を目指すべきか？	1		○		○
○社会保障の仕組み	社会保障制度のおこりや日本における基本的な内容について 日本の社会保障制度を支える財源は何か？	1			○	○
○少子高齢化と財政	社会保障制度の一層の充実の必要性や少子高齢化など現代社会の特色を踏まえた上でのこれからの福祉社会の目指すべき方向について 「高福祉高負担」を目指すべきか、「低福祉低負担」を目指すべきか？	1		○		
○単元のまとめ	①日本の財政の概要について (財務省主計局からの外部講師による授業) ②国民の生活と福祉の向上を図るために市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たしている役割や財政・租税の意義と役割について 平成 32 (2020) 年度予算からの () に、賛成か、条件付賛成か、反対か？ ※ () には、「社会資本の整備を進めるために、公共事業関係費を増額する」「次世代への借金を残さないために、公債の発行を減額する」「少子高齢化に対応するために、社会保障関係費を増額する」のうち、各学級での検討を踏まえて、学級ごとに1つをそれぞれ設定する。	2 本時	○	○		

Ⅶ 本時案

1 題 材 「単元のまとめ」

2 学習目標 国民の生活と福祉の向上を図るために、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割や財政・租税の意義と役割について考えることができる。

3 学習の展開

学習活動	教師の働きかけ	●指導上の留意点 ◇評価規準 (評価方法)
○日本の財政について、単元での学習内容を想起しながら、その概要を理解する。	○ (講師) パワーポイントや映像資料を活用する。	● (本校教諭) 生徒の様子を観察し、内容の理解が不十分であると思われる生徒を把握する。
○本時の展開を確認する。	○本時の展開の順序等を説明する。	●設定時間は目安として伝える。
平成 32 (2020) 年度予算からの () に、賛成か、条件付賛成か、反対か？		
○単元を貫く学習課題に対する自らの記述を振り返り、自らの立場と理由 (条件) を確認する。 ○様々な立場や理由 (条件) を持つ者と互いの考えを説明し合うとともに、批評し合う。 ○交流・議論の様子や内容を把握する。 ○単元を貫く学習課題に対する自らの立場と理由 (条件) を考える。	○机間指導を行い、円滑で深まりのある協議の展開に資する助言を与える。 ○教室内での移動を認めより広く交流・議論させる。 ○授業協力者とともに生徒たちに適宜助言を与えると同時に、重要な視点に立っている生徒を把握する。 ○数名の生徒を指名し発表させる。 ○授業協力者からの講評を行う。 ○机間指導を行い、よりよい記述に資する助言を与えると同時に、単元を通じた学習による自らの考えの深まりに気づかせたい。	●立場ごとに画用紙の色を分ける (賛成: 橙, 条件付賛成: 黄, 反対: 青)。 ●批評は、効率と公正、人権の尊重、世代、時間軸などの視点に基づいて行わせる。 ◇財政が租税等によって歳入が確保されることで成り立ち、その分配によって国民生活が豊かなものになっていることについて意欲的かつ多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しているか。(ワークシート)

